

## 第 25 回 神奈川県がん診療連携協議会 議事録

日時：令和 2 年 7 月 27 日（月）

場所：神奈川県立がんセンター 管理・研究棟 5 階 講堂

出席者：75 名

内容：

### 1) 開会

初めに、金森会長より挨拶があり、新たに東名厚木病院が神奈川県がん診療連携指定病院に登録されたこと、地域がん診療連携拠点病院の高度型に、横浜市立大学病院附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、北里大学病院、東海大学医学部附属病院が登録されたこと、湘南鎌倉総合病院が地域がん診療連携拠点病院に登録されたことの報告があった。また、副会長について、横浜市立市民病院の岡本医師に就任いただくことが報告された。

### 2) 議題

各部会からの報告に先立ち、金森会長より、7 月に予定していた都道府県がん診療連携協議会が延期となったため、情報等については改めて連絡するとの報告があった。

#### (1) 各部会報告

①相談支援部会長より、主に以下のような報告があった。

- ・昨年度は 3 回の会議と 4 回の研修を実施。うち 1 回は災害時をテーマにした 4 都県合同の地域相談支援フォーラムを開催した。
- ・昨年度からワーキンググループ活動に加え、相模原地域拠点病院の共同事業も開始になり、相模原市の病院が共同でがん相談支援センターの、一般市民への広報ということについて取り組んでいる。
- ・今年度の活動については、新型コロナウイルスによる感染拡大防止対策が各施設で対応に追われている中で、がん相談支援センターの運営についてこの部会の中で話し合っていく。

②院内がん登録部会長より、主に以下のような報告があった。

- ・年 2 回の部会・研修会を予定していたが、前期は中止とした。開催希望もあるため、検討していくが、開催時期は未定。リモートによる開催も検討している。
- ・2018 年の全国集計の神奈川県版を集計し、後期の協議会で報告予定。
- ・全国がん登録のデータの利用の注意事項として、絶対に院内がん登録以外の人に見せてはいけないことになっている。申請時は気を付けていただきたい。

③緩和ケア録部会長より、主に以下のような報告があった。

- ・現実的に、今年度は相互訪問によるピアレビューは難しいと考えているが、何らかの形で PDCA サイクルを回す必要があるため、ウェブによる方法等を検討する。

- ・緩和ケア研修会について、厚労省の見解は、オンライン研修会は集合研修の代わりにはならないという立場。基本的には修了証の発行には結びつかない。
- ・前回の都道府県がん診療拠点協議会において、実地調査に係る目的や調査対象、ペナルティーの有無等について連絡があった。
- ・パイロット調査について、今年度から全国の予定になっていたが、進行していない。いずれは、緩和ケア部会内の主要課題になると思われるので、コンセンサスを得ながら、県の中で動かそうと考えている。

④地域連携クリティカルパス部会長より、主に以下のような報告があった。

- ・がんパスの運用自体が、この新型コロナウイルスの流行下に本当に有効か考えなくてはいけない状況にあるため、今後実務者ワーキングのほうで実態等を把握しながら、今年度の活動目標をつくっていきたいと考えている。
- ・診療報酬について、支援者を得たいと考えており、今後部会のほうで検討する。

⑤がん薬物療法部会長より、主に以下のような報告があった。

- ・ピアレビューについて、昨年度は第2回目のピアレビュー研修を7月に実施した。その後、グループ毎にピアレビューを実施し、プレゼンや施設見学を実施いただいた。
- ・今後の課題について、現状で参加のご施設の皆さんのニーズをしっかりと把握することが必要だろうと思っている。支援的な姿勢の維持や病院幹部への浸透方法などが、今までのやり方では困難になっているため、アンケートの実施を予定している。

## (2) その他

神奈川県より、新型コロナウイルスに係る資材の配備状況の説明とがん診療への影響に係る調査の依頼、妊孕性温存に係る助成事業を含めた実態の報告について話があった。また、神奈川県歯科医師会の大持理事より、新型コロナウイルスの影響により3割ほど各診療室で受け入れ態勢ができない状態だが、順次対応をしているので、周術期について、またお願いしたいとの話があった。

## 3) 講演

「小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存に関する医療連携の実際」をテーマに、講演が行われた。詳細は資料のとおり。

## 4) 閉会

金森会長より、次回の協議会は、3月8日に予定しているとのことだった。また、コロナ禍の中で大変な状況だと思うが、がん患者さんの診療も継続しながら、ぜひ感染症に留意しながら診療をお願いしたいとの話があった。